



令和5年10月5日

きょうと生物多様性センター運営協議会

〔担当：事務局〕
電話：090-4496-3887

京都市環境政策局

〔担当：環境企画部環境管理課〕
電話：075-222-3951

「きょうと☆いきもの調査」を実施します ～みんなでドングリを調べよう！～

京都市では、緑や水辺の豊かさ等の自然環境の現状を把握するため、市民の皆様にご協力いただき、市内で見られるツバメ等の生息状況を調査する「京の生きもの生息調査」を令和元年度から実施しています。

また、本年4月には、府市協働できょうと生物多様性センターを設置し、京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、様々な取組を展開しています。

この度、「京の生きもの生息調査」をより広域に拡大し、第一弾としてドングリをテーマに住民参加型の生物調査を実施しますので、下記のとおりお知らせします。

本調査では、身近な自然や生きものを通して、参加者の皆様が自然に親しみ、生物多様性に関する理解の向上を図るとともに、身近な生きものの生息・生育情報を蓄積することで、京都の自然の豊かさ等を分析し、生物多様性保全の取組に活用します。

記

1 調査対象種

京都市内で見られるドングリの仲間（クヌギ・クリ・アラカシなど*）

※ 詳細は別紙を御覧ください。

2 調査期間

令和5年10月～令和5年12月

3 調査内容（報告内容）

ドングリの仲間を見つけたら、以下の内容を御報告ください。

- (1) 見つけたドングリ* ※ 種類を見分けるには、別紙を活用してください。
- (2) 見つけた月日
- (3) 見つけた場所
- (4) 写真*（任意） ※ 写真はなくても御報告いただけます。
- (5) 気付いたこと（任意） 例：「昨年と比べてドングリが少ない。」など

4 報告方法

京都市生物多様性ポータルサイト「京^{みやこ}・生きものミュージアム」内にある「きょうと☆いきもの調査」(<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/report-donguri/>)の報告フォームにアクセスし、上記の調査内容について入力してください。
(スマートフォンでも閲覧・報告できます)



5 調査結果

本調査の終了後、皆様から御報告いただいた内容を取りまとめ、「きょうと生物多様性センター」のホームページ等で広く公表するとともに、今後の生物多様性保全の取組に活用します。

6 関連イベント

きょうと☆いきものフェス！2023

植物と触れよう！『どんぐりの森をステージにしたワークショップ』

(1) 日時及びプログラム

令和5年10月8日(日) 13時～15時 : どんぐりクラフト
〃 15時30分～16時 : 空飛ぶタネ体験

(2) 場所

京都府立植物園 大芝生地西寄り「どんぐりの森」、大芝生地内
(〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町)

(3) 内容

ア どんぐりクラフト

どんぐり、松ぼっくり、枝、幹、葉っぱなど園内植物を材料として、グルーガンを使って自由にクラフトしよう！発想は自由、造るものも自由、材料も自由、植物に触れ感じる体験。

イ 空飛ぶタネ体験

どんぐりは重力散布、カエデは風散布、などなど植物の種子はどうやって拡がっていくのか？高所作業車から飛んでくる種子を見よう！世界一大きな羽の付いた種アルソミトラは何メートル飛んで行くかな？

(4) 申込

事前申し込み不要

7 主催

きょうと生物多様性センター運営協議会

8 共催等

共催：京都市、京都府 協力：京都府立植物園

参考 きょうと生物多様性センター

今年4月、京都市と京都府の協働で設置！

京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、生物多様性に関する情報を正確かつ継続的に把握し、収集された知見を基に、生物多様性に係る理解促進や担い手育成、地域や企業の保全活動の支援等を行うとともに、保全に係る様々な主体の連携・協力関係を構築し、効果的かつ持続可能な生物多様性保全の取組を展開します。

【設置場所】

- ・交流オフィス：左京区役所（ネットワーク形成、情報発信機能 等）

※ 交流スペースを設け、月、水、金曜日の午後1時～午後5時に開所（祝日・休日・年末年始を除く）。

- ・本部オフィス：京都府立植物園会館（本部事務機能、コーディネート機能 等）
- ・情報オフィス：京都府立大学（生物多様性情報の集積・データベース化機能 等）

【ホームページ】

<https://www.pref.kyoto.jp/biodic/index.html>

